

平成30年度
忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略
効果検証シート

令和元年5月

目次

項目						
対象事業						ページ
基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	
基本目標1： 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）	安心して子どもを産み育てられる仕組みの運用	1－①－1 子どもと親の健康づくりの推進	★妊婦・乳児健診の実施	健康福祉部健康こども課	①-1	1
			★相談窓口の設置	健康福祉部健康こども課		
			★子どもの栄養指導	健康福祉部健康こども課		
		1－①－2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談	★子育てに関する指導・相談（子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等）	健康福祉部健康こども課 教育部教育みらい課	①-2	3
			★学校教育に関する相談	教育部学校教育課		
		1－①－3 妊娠・出産・子育てに対する支援	★特定不妊治療費の助成	健康福祉部健康こども課	①-3	5
			★子ども医療費の助成	健康福祉部健康こども課		
			★忠岡あすなろ塾事業	教育部学校教育課		
	★ひとり親家庭に対する助成	健康福祉部健康こども課				
	1－①－4 子ども預かり制度の拡充	★延長保育の実施	教育部教育みらい課	①-4	7	
		★待機児童の解消	教育部教育みらい課			
		★放課後子ども教室（キッズクラブ）、児童教室、留守家庭学級の運営	教育部生涯学習課			
★放課後子ども教室（キッズクラブ）や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催		教育部生涯学習課				
魅力ある教育の推進	1－②－1 学校における多様な人材の活用	★学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置	教育部学校教育課	①-5	9	
		★小学校への司書の配置	教育部学校教育課			
	1－②－2 英語教育の充実	★忠岡町独自の英語教育方法（忠岡メソッド）の確立	教育部学校教育課	①-6	11	
		★町全体で英語にふれあえる機会の提供（英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等）	教育部学校教育課			
★外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課					

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
	子育て環境の向上	1-②-3 キャリア教育の推進	★公共施設等の見学の実施 ★職場体験学習の実施	教育部学校教育課 教育部学校教育課	①-7	13
		1-③-1 子育て関連施設の充実	★保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備 ★遊び場所・集いの場の整備	教育部教育みらい課 教育部生涯学習課、教育みらい課、健康福祉部健康こども課、産業まちづくり部建設課	①-8	15
		1-③-2 子どもの安全・安心の確保	★子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援 ★青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	①-9	17
	基本目標2: 住民みんなが つながる安心のまち (地域づくり)～ 子育て世代が ずっと住み続けたい と思えるまち～	2-①-1 健康づくりの推進	★各種健康診断の実施と受診状況の把握 ★感染症予防接種の実施と接種状況の把握 ★健康教室やイベントの開催 ★健康相談の実施 ★救急医療機関への助成	健康福祉部健康こども課 健康福祉部健康こども課 健康福祉部健康こども課 健康福祉部健康こども課 健康福祉部健康こども課	②-1	19
		2-①-2 高齢者・障がい者(児)等福祉の充実	★関連活動団体への支援 ★高齢者ケアマネジメントの実施 ★障がい者支援のための相談 ★障がい者就労のための支援 ★福祉バスの運行 ★建築物のバリアフリー化	健康福祉部地域福祉課 健康福祉部地域福祉課 健康福祉部地域福祉課 健康福祉部地域福祉課、産業まちづくり部産業振興課 健康福祉部高齢介護課 健康福祉部地域福祉課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課	②-2	21
		2-②-1 防災対策の充実	★防災・避難訓練等の実施 ★自主防災組織への支援 ★災害備蓄品の充実 ★災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定 ★耐震化のための助成	町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 産業まちづくり部建設課	②-3	23

Ⅲ

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証 シートNo.	ページ
		2-②-2 防犯対策の充実	★防犯カメラの整備 ★防犯パトロールの強化 ★防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課	②-4	25
		2-②-3 交通安全対策の充実	★交通安全施設の整備 ★交通安全教室の開催 ★迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	②-5	26
		2-②-4 消防・救急救命体制の充実	★地域の担い手となる若手消防団員の確保 ★消防資機材等の整備	消防本部消防総務課 消防本部消防総務課	②-6	27
	生涯にわたって の生きがいづくり	2-③-1 生涯学習・生涯スポーツの 推進	★生涯学習プログラムの実施 ★生涯学習関連活動団体への支援 ★活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支援 ★生涯スポーツ関連活動団体への助成 ★スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	②-7	29
		2-③-2 自治会活動の活性化	★自治会活動への助成	町長公室自治政策課	②-8	31
		2-③-3 地域文化・芸術活動の推進	★町民文化祭の開催支援 ★町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	②-9	32
	快適で利便性の 高い生活の実現	2-④-1 居住環境の向上	★河川環境保全の推進、美化活動団体への支援 ★みどりのカーテン事業等の緑化事業 ★道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動	住民部生活環境課 住民部生活環境課 住民部生活環境課	②-10	33
		2-④-2 生活・都市基盤の整備	★公園等の適切な維持管理、道路等の緑化 ★道路等の公共施設の適切な維持管理 ★上下水道施設の老朽化対策	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部水道課(旧)、 下水道課	②-11	35

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
基本目標3: 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～	地元企業の発展と住民の雇用促進	3-①-1 企業への支援	★中小企業振興資金利子の補給 ★企業HP作成のための助成 ★小売業振興のための助成 ★忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-1	37
		3-①-2 住民雇用に対する企業支援	★町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課		
	就労に有利な技術獲得、新規創業や女性就業の促進	3-②-1 就業者及び起業・創業者への支援	★就職相談や求人情報の提供 ★就職フェアや就労セミナーの開催 ★労働相談の実施 ★地元就業者の交流の場の提供 ★忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-3	39
		3-②-2 就労に向けた能力向上支援	★国家資格取得のための受験料の助成 ★就職困難者と勤労者のスキルアップのための技術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課		
		3-②-3 女性の働く機会の拡大支援	★就職相談や求人情報の提供 ★資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課		
基本目標4: 訪れたい、住みたい、住み続けたいと感じるインセンティブの付与 忠岡町の魅力づくりと発信	住みたい、住み続けたいと感じるインセンティブの付与	4-①-1 定住・移住促進のための支援	★子育て世帯等への住宅取得の助成 ★子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	④-1	43
		4-②-1 忠岡町の魅力づくり	★ウォーキングコースの整備とイベントの開催 ★地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館)の魅力発信事業 ★みなとマーケットの活性化	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 産業まちづくり部産業振興課		
	忠岡町の魅力づくりと発信	4-②-2 忠岡町の魅力発信	★忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及び貸出し ★忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用の促進	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	④-3	47

地方創生事業			
事業名	担当部課名	効果検証 シートNo.	ページ
忠岡町ブランド創造事業	町長公室自治政策課	⑤-1	49
KIX泉州ツーリズムビューロー事業(泉州地域観光DMO事業)	町長公室自治政策課	⑤-2	51

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成30年度)効果検証シート【見方】

効果検証シートの番号を記載しています。

No.	①
基本目標	② 4つの基本目標のいずれかを記載しています。
具体的施策	③ 28個の具体的施策のいずれかを記載しています。
決算額	④ 検証年度に本事業に支出した金額を記載しています。

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H30年度達成率	評価※1	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
③ 年度または事業最終年度(平成31年度)におけるKPIを記載しています。	④ 年度の達成率を記載しています。	⑤ 年度の評価を記載しています。	目標値	実績値	各年度の目標値または、最終年度の目標値を記載しています。		
主な施策	担当課名	決算額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
⑥ 具体的施策で示している主な施策を記載しています。	⑦ 担当課を記載しています。	決算額	各年度の決算額を記載しています。				
		決算額					
		決算額					

事業目標・概要 【PLAN】	事業の実施を通じてどのような状態になることを目指しているのかを記載しています。
実績 【DO】	前年度中に、具体的にどのような事業を行い、どのようなサービス等を提供したのかを記載しています。
事業内容評価・分析 【CHECK】	前年度の取組について、指標の達成状況や指標で表せない成果等を踏まえて、意図した状態にどのくらい近づいているか、本事業の進捗状況を評価しています。
今後の方向性 【ACTION】	今後の事業の取組方針(改善点、変更点、留意点等)を記載しています。

効果検証会議による評価	
意見	⑥ 検証年度の取組状況の評価、今後の課題・改善すべき事項などについて、事前に効果検証委員の方より頂いた意見を記載しています。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-1
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)
具体的施策	1-①-1 子どもと親の健康づくりの推進
決算額	14,194,489円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI		H30年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
各種 健診受診率:100%				目標値					100%
	(妊婦健診)	100.0%	◎	実績値		100%	100%	100%	
	(乳児健診)	93.9%	○	実績値		92%	87%	94%	
	(乳幼児・4か月児健診)	97.4%	○	実績値		98%	101%	97%	
	(乳幼児・1歳6か月児健診)	96.7%	○	実績値		96%	96%	97%	
	(乳幼児・2歳6か月児歯科健診)	84.4%	○	実績値		76%	84%	84%	
	(乳幼児・3歳6か月児健診)	98.3%	○	実績値		90%	90%	98%	

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
妊婦・乳児健診の実施	健康福祉部健康こども課	決算額		14,992,658円	13,489,704円	14,159,019円	
相談窓口の設置	健康福祉部健康こども課	決算額		0円	0円	0円	
子どもの栄養指導	健康福祉部健康こども課	決算額		41,635円	42,625円	35,470円	

事業目標・概要 【PLAN】	泉大津市医師会・泉北歯科医師会忠岡支部等と連携を図りながら、妊婦・乳幼児に対する健康診査や健康相談等の支援体制を充実し、安心して産み育てることのできる母子保健の取り組みを進めます。
実績 【DO】	【府内医療機関委託】 妊婦健診: 受診延べ人数1,141人、乳児健診(1か月児): 受診延べ人数88人、後期乳幼児健診(9～11か月): 受診延べ人数92人(平成31年2月末現在) 【保健センター実施】 4か月児健診: 年12回実施で116人受診、1歳6か月児健診: 年6回実施で118人受診、2歳6か月児歯科健診: 年6回実施で98人受診、3歳6か月児健診: 年6回実施で119人受診

効果検証会議による評価	
意見	・乳幼児・2歳6か月児歯科健診の受診率が低くなっているため、その他の健診受診率と同程度になるように取り組んでもらいたい。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	妊婦健診については、公費負担額を国基準(116,840円)に据え置き、補助券の単独使用を可能とするなど、経済的負担軽減を図るとともに、妊婦の心身の健康について早期支援に結びつけた。乳幼児健診においては、受診率も高く、乳幼児の疾病・障害の早期発見に努めるとともに、子育てや健康に関する相談に随時対応し、細かな支援を行っている。
今後の方向性 【ACTION】	妊婦健診については、今後も公費負担額を国基準とし、妊娠期からの相談体制の強化を図る。乳幼児健診については、受診しやすく、来しやすい環境づくり、相談しやすい体制づくりをより一層努めていく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-2			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1ー①-2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談			
決算額	9,264,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
子育てに関する各種教室参加人数：1,800人／年		189.7%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
子育てに関する指導・相談(子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等)	健康福祉部健康こども課 教育部教育みらい課	決算額	8,818,000円	8,977,500円	9,264,000円	
学校教育に関する相談	教育部学校教育課	決算額	0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	出産・子育ての不安や悩みを抱えたまま地域で孤立することのないように、身近な相談から専門的な相談、各種教室の開催など、関係機関や地域団体等の連携を強化し、妊娠・出産・子育て関連の情報提供・相談体制を充実します。
実績 【DO】	【健康こども課】 子育て教室(子どもの遊び場・ママの遊び場・学びの場):参加延人数524人、ベビマクラブ2~4か月児対象:年間12コース(2回1コース)で参加延人数270人、5~11か月児対象:年間12回(月1回)で参加延人数318人 合計588人、マタニティクラブ:年13回で参加延人数45人、体重測定日:年12回で参加延人数255人 【教育みらい課】 チューリップ保育園において、町の委託事業として子育て支援センターを設置しており、その中でオープンスペース、各種講座等を年間136回実施しており、保護者、子どもの延べ参加人数が2,003人であった。 【学校教育課】 総合相談事業を通しての奨学金等の相談や、学校生活にかかる相談を、随時、年間を通じて実施した(19件)。2学期初旬の土曜日には、奨学金等の説明会及び相談会を実施した。

効果検証会議による評価	
意見	・チューリップ保育園で実施する子育て支援センターの中で、参加者を増加させるために新たに取組んだ事業などはあるのですか。 新たに取組んだ事業があるのであれば、その事業は継続して取り組むことになるのですか。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	【健康こども課】 今年度は、参加人数が減少した事業もあったが、妊娠届出数や出生数自体が減少していることも要因とあげられる。事業の参加を通じ、疾病の早期発見や育児相談などが行え、妊娠中から未就学までの母子とその家族に対し、各ライフステージに応じた母子の愛着形成や子どもの健全な発育発達、保護者の不安軽減に繋がっている。 【教育みらい課】 今年度については、KPIの目標値を上回ることができたが、年度により参加者数の増減があることから、年度末に子育て支援センターと町事務局において年間実績を基に会議を開催しており、翌年度に向けた予定などを協議している。 【学校教育課】 年間を通じて、随時、相談体制を整えており、窓口や電話等での相談に対応できている。また、広報ただおか等を通じて、定期的に情報提供ができている。
今後の方向性 【ACTION】	【健康こども課】 今後も、引き続き各事業を開催し、利用促進を行い、安心・安全な出産や子育ての不安や悩みを軽減できるよう、身近な相談から専門的な相談など関係機関と連携し、情報提供や相談体制の充実に取り組む。 【教育みらい課】 チューリップ保育園における子育て支援センターについては、引き続き委託事業として継続をしていく。また、平成31年4月以降は、ピープル忠岡チャイルドスクールにおいても子育て支援センターを設置する予定である。 【学校教育課】 引き続き具体的な情報提供を行い、相談できる場を周知する。また、相談内容によっては、随時、関係機関との連携を行い、丁寧なサービスを実施していく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-3			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-①-3 妊娠・出産・子育てに対する支援			
決算額	57,804,650円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
不妊治療費助成件数:10件／年		60.0%	△	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)就学前保護者:20%		—	—	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)小学生保護者:13%		—	—	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
特定不妊治療費の助成	健康福祉部健康こども課 決算額	186,700円	196,600円	179,300円	300,000円	
子ども医療費の助成	健康福祉部健康こども課 決算額	5,718,822円	39,892,743円	35,967,365円	41,188,980円	
忠岡あすなろ塾事業	教育部学校教育課 決算額		2,220,000円	4,665,600円	4,665,880円	
ひとり親家庭に対する助成	健康福祉部健康こども課 決算額		10,958,567円	12,269,595円	11,649,790円	

事業目標・概要 【PLAN】	国の施策や動向と連携しながら、妊娠・出産・子育てに対する助成など各種支援を行います。
実績	【健康こども課】 0歳児の数は年々減少している。町独自の不妊治療費助成件数は、平成25年度は12件(妊娠数5件)、平成26年度は7件(妊娠数1件)、平成27年度は17件(妊娠数7件)、平成28年度は15件(妊娠数7件)、平成29年度は11件(妊娠数3件)、平成30年度15件(妊娠数3件)。また、地方創生分(2回目以降の申請分)は、平成27年度は5件(妊娠数1件)、平成28年度は4件(妊娠数0件)、平成29年度は4件(妊娠数0件)、平成30年度6件(妊娠数1件)となった。

効果検証会議による評価	
意見	・引き続き2回目以降の不妊治療費助成についての周知に努めてもらいたい。 ・子ども医療費の対象を高校卒業年度末までに拡充するなどの明確な予定は今のところないのですか。
総合評価 ※2	

【DO】	【健康こども課】 子ども医療費の助成については、平成25年4月から入院に係る対象年齢を中学校卒業年度末までに拡充した。通院については、平成26年10月より小学校3年生までに拡充し、平成27年4月より小学校卒業年度末まで拡充し、さらに平成30年4月からは対象年齢を中学校卒業年度までに拡充した。 【学校教育課】 町立小学校の4年生～6年生児童の希望者を対象に算数、及び町立中学生の希望者を対象に数学・英語の基礎・基本を学べる場を提供し、学習機会の拡充を図った。 137名（小学生101名、中学生36名）の児童・生徒が土曜日に年40回参加した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【健康こども課】 今年度は、2回目以降の助成対象者が多かった。年度内に何度も申請されている方がおり、高額な費用がかかる不妊治療において、妊娠を希望する方の経済的負担軽減を図ることになったと考えられる。 【健康こども課】 府内市町村の状況を見てみると、平成31年4月現在で、42市町村において中学校卒業年度末以上となっている。そのうち9市町（20.9%）で、18歳到達年度末となっており、更なる年齢拡充についても検討が必要であるものと考えられる。 【学校教育課】 年度末に実施した保護者対象のアンケートでは、「この塾に通うようになって、学校の勉強がよくわかるようになった」という項目に対して、保護者の肯定的な回答が得られた。保護者（61.5%）
今後の方向性 【ACTION】	【健康こども課】 不妊治療での妊娠を希望する方も多く、繰り返し治療を行っている方もおられ、今後も制度の拡充を図りながら、事業を続ける必要があると思われる。 【健康こども課】 18歳到達年度末までの拡充については、継続的に多額の財政負担が必要となることから、慎重な検討が求められると考える。 【学校教育課】 引き続き、町立小学校児童4年生～6年生を、町立中学校生徒1年生～3年生を対象に、小学生には算数、中学生には数学・英語を学べる場を提供する。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-4			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-①-4 子ども預かり制度の拡充			
決算額	49,955,445円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
待機児童：0人継続		0.0%	×	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)就学前保護者：20%		—	—	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)小学生保護者：13%		—	—	目標値 実績値
放課後子ども教室等利用児童数：年7,000人		109.9%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
延長保育の実施	教育部教育みらい課	決算額		31,599,008円	31,413,139円	32,943,205円	
待機児童の解消	教育部教育みらい課	決算額		0円	0円	0円	
放課後子ども教室(キッズクラブ)、児童教室、留守家庭学級の運営	教育部生涯学習課	決算額		16,834,431円	16,589,838円	16,974,440円	
放課後子ども教室(キッズクラブ)や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額		37,800円	0円	37,800円	

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世代の女性の働く機会を拡大するために、放課後児童クラブ(キッズクラブ)や児童館の充実など、子ども預かり制度を拡充します。
	【教育みらい課】 平成29年度については、保育士不足の影響により平成19年度以来10年ぶりに年度当初の待機児童が発生し4名となった。さらに、10月時点においては8名の待機児童となった。また、平成30年度においても引き続き待機児童が10名となった。

効果検証会議による評価	
意見	

実績 【DO】	【生涯学習課】 放課後子ども教室は、毎週木・金曜日に開催し、食育や防犯教室、企業による出前講座など様々なプログラムを実施することで子どもの情操教育を行った。 また、豊かな人間性を育むために書き方習字、ピアノ、絵画、合唱、パソコン教室など8種類の児童教室を開催するとともにピアノ発表会、児童館フェスティバルを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【教育みらい課】 今後も保育士不足により待機児童発生の恐れがあるため、早急に幼保一体化を進めて行く必要がある。 【生涯学習課】 待機児童のいない留守家庭児童学級の運営や放課後子ども教室、児童教室を開催することで放課後の子ども達の居場所を確保し安心して子育てできる環境づくりに寄与することができた。
今後の方向性 【ACTION】	【教育みらい課】 平成31年4月に公私連携幼保連携型認定こども園ピープル忠岡チャイルドスクールが開園することで、保育士不足が解消でき平成31年4月における待機児童はゼロの見込みである。 【生涯学習課】 引き続き放課後の子ども達の居場所を確保するとともに、キッズクラブや児童教室において多彩なカリキュラムを開催し、豊かな人間性を育むための情操教育を実施する。

総合評価 ※2	
------------	--

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-5			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-②-1 学校における多様な人材の活用			
決算額	8,587,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
サポーター等:年間20人		105.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置	教育部学校教育課	決算額	7,308,220円	7,129,780円	7,260,060円	
小学校への司書の配置	教育部学校教育課	決算額	1,351,360円	1,326,880円	1,326,940円	

事業目標・概要 【PLAN】	児童・生徒の実態や指導のそれぞれの場面に応じて、個に応じた選択学習、個別指導やグループ別指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、繰り返し指導、また、非常勤講師や社会人指導者などの活用も含めた学校教育の充実を図ります。
実績 【DO】	学習面への支援として、小学校1年生・2年生に非常勤講師2人、小学校3年生・4年生に学力向上サポーター2人を各小学校へ派遣した。中学校へは、生徒指導面への支援として、生徒指導サポーター2人を派遣した。また、水泳や書写などの専門的な分野での社会人等指導者5人を活用した。 児童・保護者・教員からの相談業務及び専門的な見地からの支援として、スクールカウンセラーを2人配置した。 小学校の読書活動をより推進するために学校司書2人を配置し、児童の読書への興味・関心を高めた。
事業内容評価・分析 【CHECK】	学校の教職員をサポートすることによりきめ細やかな、個々に応じた指導・支援ができた。学校司書の配置により、本の貸し出し冊数は安定的に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	さまざまな分野でのサポーターを学校現場に活用していくために、幅広く、サポーターを募集していく。

効果検証会議による評価	
意見	・学力向上サポーターの派遣やスクールカウンセラーの配置を継続して行っているということですが、具体的にはどのような効果が表れていますか。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-6			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-②-2 英語教育の充実			
決算額	10,193,978円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
英検受験者数:500人(年間100人×5年)		172.0%	◎	目標値 実績値
英検合格者数:350人(年間70人×5年)		100.0%	◎	目標値 実績値
英語体験セミナー参加者:750人(年間150人×5年)		110.7%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
忠岡町独自の英語教育方法(忠岡メソッド)の確立	教育部学校教育課	決算額		1,488,672円	945,000円	783,540円	
町全体で英語にふれあえる機会の提供(英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等)	教育部学校教育課	決算額	7,519,417円	5,899,792円	5,095,416円	5,570,438円	
外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課	決算額		3,820,000円	4,100,000円	3,840,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町全体の取り組みとして英語教育を位置付けて、本町独自の英語教育の普及と発展を推進します。
実績 【DO】	小学校教員を対象に英語指導法セミナーを年間延べ6回実施した。また、中学生を対象に英語能力判定テストを実施し、効果検証を実施している。 英語検定受験料補助を、町立中学校生徒115人、町在住中学生・高校生・大学生57人に行った。 町立幼稚園・保育所の5歳児約100人を対象に、英語体験セミナーを年間各園所で6回実施した。 町立小学校1年生～4年生児童の希望者66人を対象に、11月～3月にかけて17回の英語レッスンを実施した。 忠岡町マイワークを作成し、忠岡中学校全生徒に配布し、使える英語力の向上に努めた。また、マイワークより、スプリングコンテストを実施し、生徒の学習意欲向上に努めた。

効果検証会議による評価	
意見	・英語検定受験料補助により受験者数は年々増加している様ですが、受験した各級の受験者と合格者は何人ですか。
総合評価 ※2	

	外国青年語学指導員を小・中学校に派遣し、小・中学校の英語教育推進に寄与した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	忠岡町全体として、さまざまな学年に対して、英語に触れる場を提供できた。また、保護者の英語に対する意識も肯定的であった。 英語レッスンに参加した児童の保護者対象のアンケートでは、「英語に興味を持つようになった」という項目に対して、肯定的な回答が得られた。(100%)
今後の方向性 【ACTION】	引き続き、英語を体験できる場・英語に興味関心を持てる場を提供していく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-7			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-②-3 キャリア教育の推進			
決算額	0円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
職場体験学習等回数：年間3回		100.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
公共施設等の見学の実施	教育部学校教育課	決算額	0円	0円	0円	
職場体験学習の実施	教育部学校教育課	決算額	0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	体験型教育を通じて望ましい勤労観・職業観を育てるため、地域の仕事に学ぶ「体験活動」を実施するなど、キャリア教育の視点での学校教育活動を充実し、人間としてのあり方、生き方につながる指導を行います。
実績 【DO】	小学校3年生は、毎年、まち探検として町内の公共施設を見学している。 小学校4年生は、消防署・警察署を見学している。 中学校2年生は、職場体験学習として11月に実施している。
事業内容評価・分析 【CHECK】	児童・生徒の勤労観・職業観を育てるために、必要な情報を提供したり、関係諸機関・庁内関係課とも連携して、体験型教育の充実を図っている。
今後の方向性 【ACTION】	小・中学校9年間の系統立てた指導シラバスを充実するために、研修会等の支援を行い、指導・助言を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-8			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-③-1 子育て関連施設の充実			
決算額	316,440円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
保育所園庭開放実施:2箇所／年		100.0%	◎	目標値 実績値
保育所園庭開放実施回数:20回／年		60.0%	△	目標値 実績値
保育所園庭開放参加者数:45組・100人／年		35.6%	×	目標値 実績値
		33.0%	×	目標値 実績値
公園遊具等整備保全:22箇所		100.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備	教育部教育みらい課	決算額	0円	0円	0円	
遊び場所・集いの場の整備	教育部生涯学習課、教育みらい課、健康福祉部健康こども課、産業まちづくり部建設課	決算額	306,827円	994,663円	316,440円	

事業目標・概要 【PLAN】	地域の実情や保護者のニーズを踏まえて、公園の遊具整備や保育所の地域開放など、地域に開かれた子育て支援の場を充実します。
-------------------	---

効果検証会議による評価	
意見	・園庭開放の実施回数が増加していないようですが、今後実施回数を増やしていく予定はないのですか。

実績 【DO】	【教育みらい課】 実績としては、回数、参加者とも大幅に下回っている。この要因としては公立保育所における保育士不足によるところが、大きいと考えられる。 【建設課】公園遊具の維持補修のみ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【教育みらい課】 開催回数の増については、現状の職員体制では非常に難しいことからKPIの達成については困難であると考え。しかしながら、平成29年度から幼稚園においても園庭開放を実施し、平成30年度については、2園で年間10回実施し、延べ64人の参加実績があったので、幼保全体ではKPIの達成に近づいていると考える。 【建設課】公園遊具が老朽化しており、更新が必要な状況である。
今後の方向性 【ACTION】	【教育みらい課】 現在、幼保一体化を進めており、こども園化を図っていくことにより、今まで以上の子育て支援の場の充実を目指していく。 【建設課】公園遊具の更新を検討していく。

総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	①-9			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-③-2 子どもの安全・安心の確保			
決算額	205,360円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
見守り隊等参加者数：年間2,300人		61.4%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円	0円	
青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額	225,000円	225,000円	205,360円	

事業目標・概要 【PLAN】	子どもの安全・安心を確保するために、「子ども支援ネットワーク会議」を中心に、地域住民や地域団体、関係機関等との連携を強化し、子育て家庭に対する見守りや相談等の支援を充実します。
実績 【DO】	毎週、火曜日・金曜日の下校時に見守り隊によるパトロールを実施するとともに、留守家庭児童学級において、忠岡町役場までの避難訓練時に、子どもの安全を確保するため随行を行った。 非行防止強調月間に合わせて、青少年指導員が駅前において街頭啓発を実施するとともに、毎月定例会終了後に中学校周辺の夜間パトロールや盆踊り大会、祭礼時に町内パトロールを実施した。 見守り隊の隊員の高齢化が進んでおり、新規隊員の確保が課題となっているため各小学校のPTA役員により活動への協力依頼のチラシを通学路を中心にポスティングを行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	下校時の見守りやイベント時に青少年指導員が夜間パトロールを実施したことで、一定の犯罪の抑止効果があった。 隊員の高齢化が進んでおり、新規隊員の確保が必要である。

効果検証会議による評価	
意見	・目標値を達成できるように更なる啓発に努めていただきたい。
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

子どもの安全確保のため引き続き関係諸団体との連携を図るとともに、地域が子育てに関心を持ち、子どもを見守っていくという意識づけを住民に行い、気軽に活動に参加できるように啓発を行っていく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-1
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～
具体的施策	2-①-1 健康づくりの推進
決算額	80,050,558円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H30年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
各種がん検診受診率:30%			目標値					30%
	(胃がん)	26.7%	×	実績値	8%	9%	8%	
	(肺がん)	16.7%	×	実績値	7%	5%	5%	
	(大腸がん)	20.0%	×	実績値	5%	6%	6%	
	(子宮がん)	73.3%	△	実績値	20%	22%	22%	
	(乳がん)	76.7%	○	実績値	23%	25%	23%	
特定健診受診率:50%			目標値					50%
		48.0%	×	実績値	29%	27%	24%	
健康教室等参加人数:1,000人／年			目標値		1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
		87.3%	○	実績値	689人	744人	873人	

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
各種健康診断の実施と受診状況の把握	健康福祉部健康こども課	決算額		32,587,497円	34,730,951円	36,046,197円	
感染症予防接種の実施と接種状況の把握	健康福祉部健康こども課	決算額		42,729,116円	38,687,095円	40,728,602円	
健康教室やイベントの開催	健康福祉部健康こども課	決算額		20,000円	0円	150,220円	
健康相談の実施	健康福祉部健康こども課	決算額		1,974,500円	2,100,500円	2,436,500円	
救急医療機関への助成	健康福祉部健康こども課	決算額		662,751円	672,353円	689,039円	

事業目標・概要 【PLAN】	特定健診・特定保健指導の推進や健康、医療に対する意識の高揚などにより、国民健康保険制度の適正な運営と維持を図ります。
実績 【DO】	各種がん検診・特定健診等を、5月～3月末の期間で、保健センター及び医療機関にて実施。がん検診の推奨年齢の人を対象に、無料検診ハガキ及び受診勧奨ハガキを送付し、がん検診受診率向上を図った。 特定健診受診率については、平成29年度は、30.3%。平成30年度の実績値は、10月頃でないと確定できないので、4月末時点の実績値で評価を行った。前年度同月比で、2.3%減の実績となっている。個別受診でも、各種がん検診等と同時受診できる医療機関を増やしたり、日曜健診を年間2日実施するなど、受診機会の拡充を図り、未受診者個別勧奨も引き続き行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	がん検診については、今年度も受診率が低く、胃がん検診については前年度を下回っている。個別通知で受診勧奨を行っているが、さらなる受診への勧奨が必要と考えられる。 特定健診についても、平成27年度に無料化を図り、受診機会の拡大を図ったので、受診率は上昇したが、平成29・30年度と下降傾向にある。
今後の方向性 【ACTION】	がん検診や特定健診については、引き続き、受診日や医療機関の拡大を図りつつ、無料化や未受診者勧奨を行いながら、住民一人ひとりの健康意識を高める啓発活動にも努力し、保健事業への積極的参加を促進するよう努める。

効果検証会議による評価	
意見	・各種がん検診、特定健診の受診率と、健康教室等の参加人数が目標値に達していませんが、何か啓発は行っていますか。 また、決算額が増加しているのはどのような理由がありますか。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-2			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-①-2 高齢者・障がい者(児)等福祉の充実			
決算額	53,538,351円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
介護予防のため教室利用者数:年間200人		392.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
関連活動団体への支援	健康福祉部地域福祉課 決算額		31,190,117円	32,142,543円	18,355,000円	
高齢者ケアマネジメントの実施	健康福祉部地域福祉課 決算額		28,531,427円	30,992,888円	30,051,690円	
障がい者支援のための相談	健康福祉部地域福祉課 決算額		1,437,500円	1,437,500円	1,500,000円	
障がい者就労のための支援	健康福祉部地域福祉課、産業まちづくり部産業振興課 決算額		204,000円	204,000円	354,000円	
福祉バスの運行	健康福祉部高齢介護課 決算額		3,061,944円	3,143,792円	3,277,661円	
建築物のバリアフリー化	健康福祉部地域福祉課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課 決算額		2,116,800円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	高齢者や障がい者、障がい者(児)の保護者、介護者等からの相談に応じる総合的な相談支援事業の充実を図るとともに、地域の中で自立した生活を営むために必要な情報の提供や施設の整備を推進します。
実績 【DO】	【地域福祉課】 要支援・要介護の状態となる恐れのある高齢者を把握し、お元気いきいき教室(介護予防教室)を開催し、運動や栄養改善等のプログラムの実践等を通じて、要介護状態になることを予防するための介護予防事業を実施した。また、健康寿命延伸のため、インターバル速歩事業を開始し、歩き方や下肢筋力の向上に寄与するための教室を実施した。

効果検証会議による評価	
意見	・今後より一層、一人暮らし高齢者へのケアの充実を図っていただきたい。 ・関連活動団体への支援について、決算額が低いのはなぜですか。
総合評価 ※2	

	【産業振興課】 本町所在の障がい者施設の入所者(約13人)に、当該施設内で完了できる簡易な作業を年間委託して工賃を支払う「忠岡町障がい者就労支援事業」を実施した(H25～継続実施)。 また、平成30年度より就労継続支援B型作業所の利用者(約19人)を町立図書館に派遣し、児童書の清拭作業等を委託して工賃を支払う委託契約を行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【地域福祉課】 介護予防教室の開始時と終了時に、参加者の運動能力を測定し、教室の参加によって、どのくらい体力等が改善・向上されたかを参加者に示している。 参加者からは、毎年このような教室を開催してほしいと要望がある。 インターバル速歩事業においても事業の継続を希望している。 【産業振興課】 町PRグッズの一部作成や販売用グッズの包装等を主業務とし、業務に関っていることを貼付シールで表記し、障がい者の活動が社会資源になることを広くPRしている。 作業可能な入所者は社会貢献を認識して工賃を得ることができ、自立心向上に繋がっていることから施設職員・保護者等から継続要望がある。また、本事業は、大阪府総合相談事業交付金算定の際、創意工夫の事例として加算対象となった。 町立図書館における清拭作業等に関しては、公共施設内にて作業を行うことにより利用者が社会貢献している実感が強いと、作業所職員より継続の要望がある。
今後の方向性 【ACTION】	【地域福祉課】 広く住民の健康や運動意識の向上を図るため、教室の開催頻度を増やすことや講演会の開催を検討する。 また、目標値の引き上げについて検討する。 【産業振興課】 委託する作業メニューの単一化を防ぐため、町PRグッズ以外にも各種啓発物品や学校配布用品等購入の際、完全外注を即決せずに障がい者の作業が入り込める余地を熟考していく。また、他の障がい者関連施設においても就労希望を確認し、社会貢献の認識と工賃獲得が実現するよう支援していく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-3			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-1 防災対策の充実			
決算額	2,352,289円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
防災訓練等参加者数:年間400人		115.0%	◎	目標値 実績値
備蓄食料:18,500食		104.8%	◎	目標値 実績値
要支援者のマッチング率:70%		59.9%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
防災・避難訓練等の実施	町長公室自治政策課	決算額	134,268円	90,473円	121,260円	
自主防災組織への支援	町長公室自治政策課	決算額	0円	0円	0円	
災害備蓄品の充実	町長公室自治政策課	決算額	1,483,660円	1,277,575円	740,880円	
災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定	町長公室自治政策課	決算額	85,937円	73,738円	85,149円	
耐震化のための助成	産業まちづくり部建設課	決算額	2,135,000円	1,045,000円	1,405,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	地域における自主的な「共助」による防災活動を推進するために、自主防災組織への支援に努め、それに必要な情報周知、設備支援や建物の耐震化の助成などを推進します。
実績 【DO】	平成30年度の防災訓練では、昨年度に引き続き忠岡中学校体育館を使用した避難所開設・設営訓練を実施し(370名参加)、翌2月には防災講演会(90名参加)を実施した。 備蓄食料については、必要備蓄数を達成できるよう、計画に基づき1,550食分を購入

効果検証会議による評価	
意見	・要支援者のマッチング数が増加していませんが、何か理由等がありますか。
総合評価 ※2	

	災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定について、マッチング数が27件減少した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	備蓄食料は、目標値を達成した。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、現時点でのマッチング率は目標値の6割以上であるが、目標達成のためにはより一層の取り組みが必要である。
今後の方向性 【ACTION】	防災訓練等については、町民の参加を広く呼びかけた上で実施する。 備蓄食料については、賞味期限を迎える食料もあることから計画に基づいて整備を進めていく。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、今年度も各地区自治振興協議会にマッチングを依頼し、新たな個別計画の策定を図る。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-4			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-2 防犯対策の充実			
決算額	701,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
防犯カメラ設置箇所数:50箇所		98.0%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
防犯カメラの整備	町長公室自治政策課 決算額		825,000円	489,000円	601,000円	
防犯パトロールの強化	町長公室自治政策課 決算額		0円	0円	0円	
防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 決算額		550,000円	100,000円	100,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	安全で安心な地域社会を実現するため、防犯委員会、警察、関係団体と連携しながら街頭啓発を行うなど、防犯体制の強化に努めます。
実績 【DO】	各地区自治振興協議会において4台の防犯カメラが設置され、補助金を交付した。墓店に合わせ、防犯パトロールを行い、また、広報車で青色防犯パトロールも随時実施した。 春・秋の地域安全運動に合わせ、駅前での街頭啓発、スーパー前でのひたくり防止カバーの取付けを実施した。また、3月にはDVDや落語による防犯講演会を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	防犯カメラの設置については、目標値を達成できるペースで台数が増加している。青色防犯パトロールを実施したことにより、通学時の安全を図ることができた。また、ひたくり防止カバーの普及により、街頭犯罪に対する抑止効果を図ることができた。
今後の方向性 【ACTION】	防犯カメラの設置については、今後も自治振興協議会に対する補助金の交付を行い、台数の増加を図る。また、設置の必要性があると思われる箇所については、自治振興協議会に対して積極的な情報提供を行う。 防犯パトロール及び防犯啓発は効果が見えにくい事業であるが、関係団体との連携を強化すること、及び町民の防犯意識を高めることに主眼を置き、取組みを実施していく。

効果検証会議による評価	
意見	・自治会だけでなく、警察との連携にも重点を置いて、防犯体制の強化に努めていただきたい。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-5			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-3 交通安全対策の充実			
決算額	4,860,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
交通安全教室への参加者数(学校・幼稚園保育所での開催を除く):120人／年		100.0%	◎	目標値
				実績値
交通死亡事故件数:0件維持		0.0%	×	目標値
				実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
交通安全施設の整備	産業まちづくり部建設課 決算額		3,215,160円	5,907,600円	4,860,000円	
交通安全教室の開催	産業まちづくり部建設課 決算額		0円	0円	0円	
迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 決算額		0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、家庭・学校・地域・職場などと連携・協力し、各年齢層に応じた交通安全教育の充実に努めます。また、交通安全の推進に関連する各種施策を実施します。
実績 【DO】	春と秋の交通安全運動期間中に、安全運転者講習会、高齢者体験・実践型交通安全教室、高齢者対象の交通安全教室、忠岡幼稚園・東忠岡幼稚園・チューリップ保育園・忠岡保育所・東忠岡保育所・忠岡小学校・東忠岡小学校において、交通安全教室をそれぞれ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	春と秋の交通安全運動期間中に実施した交通安全教室への参加者は、目標どおりであった。
今後の方向性 【ACTION】	今後も広く住民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故の防止の徹底を図る。

効果検証会議による評価	
意見	・交通死亡事故が平成29年度に引き続き発生しているが、事故が起こらないような取り組みはどのようなことをされていますか。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-6			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-4 消防・救急救命体制の充実			
決算額	463,320円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
年齢構成割合(40歳以下の団員):60%		83.3%	○	目標値 実績値
消防団の装備の基準整備率:100%		90.0%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
地域の担い手となる若手消防団員の確保	消防本部消防総務課	決算額	0円	0円	0円	
消防資機材等の整備	消防本部消防総務課	決算額	1,780,531円	33,566,490円	463,320円	

事業目標・概要 【PLAN】	消防車両及び各種資機材を年次的に整備するなど消防力の強化を図るとともに、将来に向けての体制の維持・強化を図るため、若手消防団員の確保に努めます。また、救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成と救急隊員の育成強化により、救命率の向上を図ります。
実績 【DO】	火災現場用器具、救助器具及び訓練用器具を整備し、消防資器材の充実と消防技術の向上に努めた。若手消防団員を確保するために広報誌による入団促進、防災訓練時に住民に対する入団促進、及び消防団員からの勧誘を継続的に実施した。救急救命士養成計画に基づいて、救急救命士の資格を1名取得させ、10名体制で救急事案に対応した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	消防用資機材等の充実、及び消防技術の向上が図られた。広報誌による入団促進、防災訓練時の入団促進、及び消防団員からの勧誘を継続的に実施した事により今後、若手団員の入団が期待できる。救急救命士養成計画に基づいて救命士資格取得者を増員し、増加する救急需要に対応する事ができた。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

消防車両及び各種消防資機材を整備し、消防力の強化を図る。様々な広報媒体、各種行事等で消防団員の入団促進を積極的に実施し、条例定数の45人を確保する。指導救命士による救急救命士の技術指導の実施、又、医師と連携して救急業務に携わる救急救命士、救急隊員、通信指令員との連携調整、教育訓練等を通じて救急体制の充実を図る。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-7			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-1 生涯学習・生涯スポーツの推進			
決算額	3,753,426円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
生涯学習プログラムの参加者数:年間1,200人		109.7%	◎	目標値 実績値
スポーツイベント参加者数:年間3,000人		82.4%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
生涯学習プログラムの実施	教育部生涯学習課	決算額		861,700円	861,700円	916,300円	
生涯学習関連活動団体への支援	教育部生涯学習課	決算額		877,000円	877,000円	877,000円	
活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支援	教育部生涯学習課	決算額		0円	0円	0円	
生涯スポーツ関連活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額		1,263,000円	1,263,000円	1,323,000円	
スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額		630,580円	635,076円	637,126円	

事業目標・概要 【PLAN】	ライフステージに応じた学習機会の創出や、多様化する住民ニーズに応える生涯学習や生涯スポーツ推進のための体制づくりを計画的に進めるとともに、生涯学習関連活動団体等の支援・育成を進め、住民と役場の協働による生涯学習推進体制を整備します。
実績 【DO】	文化会館において連続講座延べ36回、単発講座71回の学習プログラムを開催した。新規講座や講座数の増加、土、日曜日の開催、預かり保育を実施したことで参加者数が大幅に増加するとともに若年層の参加者も増加した。 また、町主催によるただおかウォーク、町民体育大会、ただおかマラソン大会の開催、スポーツ推進委員協議会と連携を図りチャレンジザウォークを開催することで住民の健康促進を図った。なお、ゲートボール大会については、台風21号の影響で中止となった。

効果検証会議による評価	
意見	・文化会館で開催する新規講座は、具体的にどのような内容で、年齢構成はどのような状況ですか。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	新規講座や、土、日曜日の開催、預かり保育を実施したことで、参加者が大幅に増加し、ライフステージに応じた学習機会の創出や多様化する住民ニーズに応えることができた。 ウォーキングイベントは、昨年NHK関西ラジオで紹介されたことから、参加者が増加し、H30年度も一定数以上の参加申込があり、ウォーキングの習慣を身につけることに寄与することが出来た。
今後の方向性 【ACTION】	住民ニーズに応じた多種多様な講座やスポーツ・レクリエーションを実施していく。 また、若年層の方が講座に参加しやすいよう、今後も土・日曜日の開催や子どもの預かり保育を行うなど工夫し、参加しやすい環境の整備を図っていく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-8			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-2 自治会活動の活性化			
決算額	50,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
自治会加入率:80%		93.0%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
自治会活動への助成	町長公室自治政策課 決算額		485,000円	350,000円	50,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	地域におけるふれあいや連帯感を高め、日常やいざという時に助け合うことができるコミュニティが形成されるよう、様々な機会を通じてコミュニティ意識の醸成に努めるため自治会活動への支援を図ります。
実績 【DO】	1地区の自治振興協議会において、自治会への加入を促進する事業として地域の人々が交流できるイベントが開催され、地域住民の触れ合いにより、各地区自治会加入率の向上を目指した。 自治会で把握している各地区の世帯数をベースに算定した平成30年度の自治会加入率は74.4%(平成29年度は73.8%)となった。なお、加入世帯数は5,098世帯(平成29年度は5,112世帯)であり、14世帯の減となった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	自治会加入世帯は減となったが、それ以上に自治会が把握している世帯数が減少したことにより、自治会加入率は、対前年度比としては0.6%の増となった。
今後の方向性 【ACTION】	各地区自治振興協議会においてこういった事業が自治会への加入に結びつくかを検討されているが、次年度は今年度と異なる新たな事業に取り組まれるよう依頼し、自治会への加入を促進する有効な取り組みを模索する。有効と思われる取り組みがあれば、翌年度以降の事業に活かせるよう、各自治振興協議会に情報提供を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-9			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-3 地域文化・芸術活動の推進			
決算額	0円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
町民文化祭の来場者数:年間 1,400人		79.7%	△	目標値
				実績値
町民音楽祭の来場者数:年間180人		111.1%	◎	目標値
				実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
町民文化祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円	0円	
町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	地域における文化創造の担い手である住民の自主的で多様な活動を振興するため、住民が日常生活の中で文化活動に取り組める機会や場の充実に努めるとともに、住民が多種多様な文化・芸術を楽しむ機会を拡充します。
実績 【DO】	10月中旬～11月上旬まで文化会館において、忠岡町文化協会主催による子ども作品展、一般作品展など文化祭を開催し、11月4日に各クラブの発表会としてふれあいフェスティバルを実施した。11月18日に町内で活動する音楽関係団体の出演とハーモニカ演奏者をゲストに迎え町民音楽祭を開催した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	文化協会の活動を支援することにより文化・芸術にふれあう機会を創出し、住民の交流の場を提供することができた。
今後の方向性 【ACTION】	忠岡町文化協会が自主的な活動ができるよう、引き続き支援を行う。

効果検証会議による評価	
意見	・文化祭事業を予算化し、町出身の著名人を迎え、より一層の充実を図っていただきたい。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-10			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-④-1 居住環境の向上			
決算額	284,652円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
個人清掃ボランティア新規登録数:10人(年間2人×5年)		50.0%	×	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
	2人	2人	2人	2人
	2人	8人	1人	

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
河川環境保全の推進、美化活動団体への支援	住民部生活環境課	決算額	258,000円	180,000円	255,600円	
みどりのカーテン事業等の緑化事業	住民部生活環境課	決算額	74,000円	21,773円	29,052円	
道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動	住民部生活環境課	決算額	0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	みどり豊かなまちづくりを進めていくため、道路や河川などの緑化を図るとともに、身近な緑化運動などを通じた意識の高揚や公共空間での美化活動を推進します。
実績 【DO】	河川生物調査等でのデータ収集、河川パトロールの実施、生活排水対策や河川美化の啓発活動等を行った。 児童館、北出浄水場、文化会館においてゴーヤ等76ポットの植栽を行い、日陰により室内温度の上昇を抑える緑化事業を実施した。 自治振興連絡協議会の協力のもと、町全域において年2回(6月、11月)の清掃活動を実施(収集ごみ量約7.4トン) 清掃ボランティアによる道路、公園等の清掃(ごみ袋2,850枚配布)に対し支援するとともに、清掃ボランティアとして1人の新規登録があった。

効果検証会議による評価	
意見	・清掃ボランティアの新規登録数を増加させるためにどのような取り組みを行っていますか。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努めることにより、河川水質が改善している。 地球温暖化防止活動の一環として壁面等につる性植物などを植栽する環境にやさしい身近な取り組みの普及促進が図られた。 地域における美化活動の推進により、環境美化に対する意識、マナーの向上が図られた。
今後の方向性 【ACTION】	河川環境保全については、今後も大津川水域水質保全対策協議会に参画し、環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努める。 緑のカーテン事業については、実施場所の拡充を図る。 今後も道路、公園等の公共施設における、個人、地域、ボランティア団体等の自主的な美化清掃活動を支援し、環境美化に対する意識、マナー向上のための啓発活動の充実に努める。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	②-11			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-④-2 生活・都市基盤の整備			
決算額	166,361,128円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
公共施設等長寿命化計画の策定		100.0%	◎	目標値 実績値
水道管の更新箇所:3路線、総延長1,060m		—	—	目標値 実績値
		—	—	目標値 実績値
下水道人口普及率:97%		100.1%	◎	目標値 実績値
水洗化率:90%		99.6%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体的見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
公園等の適切な維持管理、道路等の緑化	産業まちづくり部建設課	決算額		18,231,518円	18,376,810円	19,256,995円	
道路等の公共施設の適切な維持管理	産業まちづくり部建設課	決算額		17,619,181円	19,545,267円	20,669,053円	
上下水道施設の老朽化対策	産業まちづくり部水道課(旧)、下水道課	決算額		79,267,680円	75,188,640円	102,407,600円	
下水道の普及促進	産業まちづくり部下水道課	決算額		45,880,990円	29,379,350円	24,027,480円	

事業目標・概要 【PLAN】	都市基盤整備の促進、調和のとれた住宅開発などが行われるよう、都市計画法、国土利用計画法、都市公園法などの法制度を適切に運用し、道路や下水道、公園・緑地などの計画的な整備を進め、生活環境の向上を図ります。
-------------------	---

効果検証会議による評価	
意見	・4月より大阪広域水道企業団が経営されているということですが、今後も町の意向に沿った形で事業は行われるのでしょうか。

実績 【DO】	【建設課】公園の定期的な清掃と樹木の剪定を実施。道路については、町道中央線、宮ノ前線舗装の一部改修、その他老朽化した舗装の補修を実施した。 【水道課(旧)】 中央線水道管更新第3期工事(第1工区、2工区)を実施し、基幹管路(忠岡東1丁目地内)の更新及び耐震化が図られた。 【下水道課】 下水道人口普及率については、97.1%まで達成。汚水整備延長工事(75.0m)を行った。水洗化率向上については、下水道整備区域の世帯について、戸別訪問を行い、水洗化についての状況調査を実施。町広報に随時掲載し、啓発を行った。水洗化に対する改造助成金(12件、240千円)を交付した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【建設課】限られた予算の中、適切な維持管理に努めた。 【水道課(旧)】 単年度における計画どおりの更新工事を行うことができた。 【下水道課】 下水道人口普及率は、実績値97.1%、水洗化率は、実績値89.6%で順調に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	【建設課】老朽化した公園設備や道路舗装の改修に努める。 【水道課(旧)】 平成31年4月1日より大阪広域水道企業団が経営。 【下水道課】 国の補助金等を効率的に活用し、更なる下水道整備を進める。 水洗化率向上対策として今後も啓発活動を継続する。

総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	③-1			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-①-1 企業への支援			
決算額	1,997,094円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
補助事業利用件数: 70件		121.4%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
中小企業振興資金利子の補給	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,321,905円	1,128,066円	1,530,259円	
企業HP作成のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円	50,000円	100,000円	
小売業振興のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		300,000円	300,000円	300,000円	
忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 決算額		64,468円	66,499円	66,835円	

事業目標・概要 【PLAN】	商工会と連携を図り、企業の経営改善や体質の強化などに向けた相談支援・指導体制を充実します。また、地域産業の育成を図るため、地場産品や新商品の販路拡大に向けた支援を行います。
実績 【DO】	中小企業振興資金利子の補給申請(41事業者)、企業HP新規作成の補助申請(2事業者)、30万円助成する小売商連合会加盟数(36事業者)、庁舎内・駅構内での特産品展示コーナー利用(8事業者)、計85事業者であった。また、昨年度に企画担当及び商工会と共に「産業連絡会議」を開催し、町内産品のPR及び販路拡大を図るため、「ふるさと納税返礼品」として事業拡大し、現在も継続中である。
事業内容評価・分析 【CHECK】	上記の主な施策を実施する中で、「ふるさと納税返礼品」の地場産品希望数は予想以上の結果を得たことから、販路拡大や特産品PR等の支援手法については、庁内各部署及び商工会との連携が重要であることを認識した。
今後の方向性 【ACTION】	中小企業振興資金利子補給制度の継続と、全支援策の実施時期や事業内容等の周知徹底に最善を尽くすとともに、町内企業の現況や要望等を把握し、今後の事業実施の手法や改善点等にも留意していく。

効果検証会議による評価	
意見	・地元産品の広報周知とホームページ作成、飲食店の増加など商工会と連携した取り組みを進めていただきたい。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No. ③-2

基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～
具体的施策	3-①-2 住民雇用に対する企業支援
決算額	250,000円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H30年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
補助事業者数:10社／年	50.0%	×	目標値 実績値		10社 4社	10社 1社	10社 5社	10社

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課	決算額		300,000円	50,000円	250,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	地元企業への住民の就業を進めるために、企業にとってメリットが感じられる支援を行います。
実績 【DO】	町内6事業者から住民の正規雇用者6名の給付申請があったが、うち1名が途中退職したため、規定に沿って5名、25万円の補助を行った。対象となった正規雇用者の年齢は19、28、36、60、51歳。
事業内容評価・分析 【CHECK】	本事業は実施3年目であるが、昨年は1事業者1名雇用分の申請があったことから、当該戦略事業の1メニューとして継続していくべきと考えている。
今後の方向性 【ACTION】	次年度における事業実施の周知は、町広報・商工会会報等に複数回掲載を実施していく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	③-3			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に 応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-②-1 就業者及び起業・創業者への支援			
決算額	1,679,600円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
相談等支援者数:100人／年		229.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
	100人	100人	100人	100人
	378人	272人	229人	

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円	0円	0円	
就職フェアや就労セミナーの開催	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円	100,000円	100,000円	
労働相談の実施	産業まちづくり部産業振興課 決算額		130,000円	129,600円	129,600円	
地元就業者の交流の場の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		200,000円	200,000円	150,000円	
忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,500,000円	1,700,000円	1,300,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	ハローワークや高石市、泉大津市と連携して就職情報フェアを開催するなど、マッチングの場を設けます。また、若手経営者が交流できる場の提供や、就業者に対する相談機能の強化、町内での創業への支援を図ります。
実績 【DO】	岸和田と泉大津のハローワークから毎週届く求人情報冊子の年間持ち帰り冊数は100冊超、町窓口就労相談10件、泉大津・高石との合同開催の「2市1町泉北就職情報フェア」参加者は80人、「高年齢者雇用促進フェア」参加者は15人、労働相談実施人数は3人、「忠岡町労働者協議会」主催行事参加者は71人、国認定の創業支援事業による支援者は48人、起業・創業支援補助金受給者は2人となった。

効果検証会議による評価	
意見	・就労支援の充実と地元企業のPRを図っていたきたい。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	H28年4月の広報紙から、「就労相談」「労働相談」のいずれかの周知を可能な限り毎号掲載し、「ふれあい大会」では啓発物品の配布と就労相談ブースの設置を行うなど、相談体制が整備されていることを繰り返しPRした。相談者数の即刻増加とはならないが、相談業務の継続は根気と周知徹底が必要であり、起業・創業者向けの事業についても手厚い支援体制の継続と周知が必要である。
今後の方向性 【ACTION】	高校や専門学校、大学等、就労直前の最終学歴となる教育機関が存在しない本町では、行政実施の就労相談や支援希望関連の事業は馴染みにくい状況にあるが、周知啓発を繰り返し実施していく。また、本町商工業の活性化のため、今後も起業・創業の掘り起こしを行い、多角的な事業展開が可能なまちづくりに寄与していく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	③-4			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-②-2 就労に向けた能力向上支援			
決算額	250,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
補助金申請者数:50人／年		38.0%	×	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
国家資格取得のための受験料の助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		168,000円	241,000円	143,000円	
就職困難者と勤労者のスキルアップのための技術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		11,000円	37,000円	107,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある人が安定的に就労・就業できるよう、職業訓練・資格取得などに関する指導や情報提供を行い、受験や講習等に係る経費を支援します。
実績 【DO】	国家資格受験料の助成は10件、技術講習等受講料の助成は9件、計19件の実績となり、在住者14件、在勤者5件であった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	目標人数には達していないが、本事業の前制度(職業能力開発奨励補助金)では申請者がほとんどいないレベルであったことを鑑みると、H28年度15件、H29年度19件、H30年度19件の申請があった意味は大きく、スキルアップ希望者に対する支援策として継続するべきと考える。
今後の方向性 【ACTION】	町広報紙やHPへの掲載と商工会会報に同封するチラシを今後も継続し、本事業の周知徹底を進めていく。

効果検証会議による評価	
意見	・国家資格の受験や技術講習等の受講をされている方は、どのような資格を取得されていますか。
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No. ③-5

基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～
具体的施策	3-②-3 女性の働く機会の拡大支援
決算額	400,000円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H30年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
受講人数:20人／年	130.0%	◎	目標値 実績値		20人 31人	20人 33人	20人 26人	20人

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課	決算額		0円	0円	0円	
資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課	決算額		400,000円	400,000円	400,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある女性の就労・就業を支援するために、職業訓練・資格取得などに関する相談や情報提供を行うなど支援の充実を図ります。
実績 【DO】	資格取得を目的とした専門講座は毎年実施しているが、講座内容はこれまでの受講者の要望や社会状況等により決定しており、H30年度は福祉住環境コーディネーター3級試験対策講座(10名受講)と日商簿記3級試験対策講座(16名受講)を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	福祉住環境コーディネーター3級試験対策講座の受講者10名のうち7名が受験した。日商簿記3級試験対策講座の受講者16名のうち13名が受験した。長期にわたる講座であるが希望者も多く、一定期間をかけて知識を習得し資格獲得を目指す希望者が多い。
今後の方向性 【ACTION】	町内企業の意向や雇用情勢等を参考に事業の実施内容を毎年検討するとともに、事業実施前の周知案内等は徹底して行っていく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	④-1			
基本目標	4 訪れたくなるまち、住みたくなるまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～			
具体的施策	4-①-1 定住・移住促進のための支援			
決算額	280,000円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
住宅取得助成申請件数(うち転入世帯数):20件／年(12件／年)		平成29年度をもって事業終了		目標値
				実績値
				目標値
				実績値
住宅リフォーム助成申請件数(うち転入世帯数):10件／年(6件／年)		30.0%	×	目標値
				実績値
		0.0%	×	目標値
				実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
子育て世帯等への住宅取得の助成	産業まちづくり部建設課	決算額	3,550,000円	4,930,000円	5,660,000円	0円
子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課	決算額		680,000円	570,000円	280,000円

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世帯のニーズを充足することができるよう、各種助成を推進します。
実績 【DO】	子育て世帯等への住宅リフォームの助成は、3件と目標を下回った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	広報誌等で周知したが、子育て世帯住宅リフォームに関する問い合わせはほとんどなかった。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

住宅リフォームの助成については、平成30年度で助成制度終了。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	④-2
-----	-----

基本目標	4 訪れたくなるまち、住みたくなるまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～
具体的施策	4-②-1 忠岡町の魅力づくり
決算額	1,216,200円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H30年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
イベント参加者数:600人／年	85.5%	○	目標値	300人	600人	600人	600人	600人
			実績値	112人	732人	718人	513人	
正木美術館入館者数:2,300人／年	75.2%	△	目標値	2,700人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人
			実績値	2,783人	2,123人	1,786人	1,729人	

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ウォーキングコースの整備とイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額	2,951,143円	90,484円	111,664円	86,200円	
地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館)の魅力発信事業	教育部生涯学習課	決算額		1,430,000円	1,448,890円	530,000円	
みなとマーケットの活性化	産業まちづくり部産業振興課	決算額		600,000円	600,000円	600,000円	

事業目標・概要 【PLAN】	地域の歴史・文化的資源を体系的に把握し、魅力ある文化情報として、住民だけでなく町外へも発信します。
実績 【DO】	【生涯学習課】 文化会館講座の水墨画鑑賞とコケ玉作りを正木美術館において開催した。 また、新浜緑地展望台とテニスコートでのゲーム、忠岡みなとマーケット見学をコースに取り入れたウォーキングイベントやだんじり祭り時に地車連合会と協力し観覧席、模擬店出店、ただお課長グッズ販売のおもてなしイベントを開催し、町の魅力を町外に発信した。 【産業振興課】 フリーマーケット(参加店舗数1)の開催と鮮魚販売に加え、テーブルセットとテントを新調して設置し、来場者の受入体制を整備するとともに、無料試食や漁船による大阪湾無料周遊(参加者計150人)等のイベントも新たに実施し、みなとマーケットは計3回開催した。

効果検証会議による評価	
意見	・正木美術館の入館者数が年々減少傾向にあるように思いますが、入館者数の増加を目指したイベントなど、具体的施策は考えておられますか。 ・正木美術館を活用した魅力発信事業に対する更なる助成を行い、事業の充実を望みます。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	【生涯学習課】 ウォーキングイベントは昨年度にNHK関西ラジオで紹介されたこともあり、一定数以上の参加者があった。(178人) また、地車連合会と協力して実施したおもてなしイベントも概ね好評であった。 【産業振興課】 会場は開催時刻前から買い物客で賑わっており、無料試食や大阪湾周遊には家族連れなどが多く参加するなど、来場者の年齢層が広がった。また、新メニューの実演販売やお買い得品タイムセール等の実施により、買い物客が満足感を得やすい仕組みを設定した結果、町外からの来場者も増加中である。
今後の方向性 【ACTION】	【生涯学習課】 町の魅力アップに繋がるイベントの開催とイベント情報誌への掲載を行っていく。 【産業振興課】 漁協側の人件費等の経費削減と、町内行事や各種イベントとの同時開催を避けるため、みなとマーケットは第5日曜日のみとし年3回程度の実施となった。周知徹底を図るため、町広報紙には事前の開催通知と事後の状況報告を掲載し、庁舎内ポスター等の掲示を継続するとともに、その他PR手法についても検討していく。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	④-3			
基本目標	4 訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したいまち～			
具体的施策	4-②-2 忠岡町の魅力発信			
決算額	609,371円			
KPI		H30年度達成率	評価※1	
イベント・デザイン使用回数:50回／年		104.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及び貸出し	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,050,446円	1,731,361円	609,371円	
忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用の促進	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円	0円	0円	

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町の魅力を効果的に発信するため、イメージキャラクターの一層の活用を図ります。
実績 【DO】	町行事及び貸出等によりイメージキャラクターが参加したイベントは32件、デザインの使用申請件数は20件となった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	これまでの各種報道や町立小学校副読本への掲載等により、町内はじめ泉州地域での知名度は上昇した。イベント時での写真撮影希望者や外部団体からの貸し出し頻度は増加し、各団体や個人によるデザイン活用の相談も増えてきている。本町実施の公的グッズ販売額は269,098円、物販を開始した平成25年以降の累計販売額は2,271,985円となった。
今後の方向性 【ACTION】	町PRはじめ、行政各般においても適宜イメージキャラクターの効果的な活用が定着し、まちづくりのツールとして一層魅力的な存在となっていくよう創意工夫に努める。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	⑤-1		
事業名	忠岡町ブランド創造事業		
担当部課名	町長公室自治政策課	補助金の有無	有
補助金名	地方創生推進交付金	補助率	対象事業費の1/2
事業期間	H28.12～H31.3（3カ年）		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	5,665,520円	10,987,491円	9,868,914円
国庫補助額	2,828,734円	4,639,619円	4,916,146円
KPI 最終目標値 (H30年度)	参画企業数 : 9社 実験栽培の成功種類 : 8種類 売上高 : 12,000,000円		

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI項目	H30年度達成率	評価※1		H28年度	H29年度	H30年度
参画企業数	175.0%	◎	目標値	2社 (2社)	3社 (5社)	4社 (9社)
			実績値	21社 (21社)	1社 (22社)	7社 (29社)
実験栽培の成功種類	60.0%	△	目標値		3種類 (3種類)	5種類 (8種類)
			実績値		3種類 (3種類)	3種類 (6種類)
売上高	0.0%	×	目標値			12,000,000円
			実績値			0円

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町商工会を事業推進主体として、忠岡町ブランドとなる「きのこ」を創造するため、大学、金融機関や企業と連携して量産方法、販売ルートやエコ栽培方法などを研究し、町内企業などの参画による「忠岡町ブランド」を全国に発信する。
実績 【DO】	参画希望者の募集を行ったところ7社の応募となった。 また、栽培研究施設においてエコ栽培方法による実験栽培では、平成29年度は3種類(タモギタケ、ヒラタケ、エノキタケ)で、平成30年度も3種類(アワビタケ、シメジ、ヤナギマツタケ)の計6種類に成功した。 広報活動としては、新聞社2社、放送局2社(TV1社、ラジオ1社)より本事業が取り上げられた。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	参画希望者は、今年度は7社の応募があり、総数は29社となり想定を大幅に超える応募数となった。 エコ栽培方法による実験栽培に3種類(計6種類)成功し、その中で収穫が速くできるタモギタケを町ブランドとして推進した。 また、新聞社や放送局等に取り上げられたり、商工カーニバルに出展することにより幅広く本事業の広報活動を行うことができた。また、町内外の事業者、数社が興味を示したが、起業するまでには至らなかった。
今後の方向性 【ACTION】	平成30年度では、本事業により起業するまでには至らなかったが、まだ興味を示している事業者や新たに興味を示す事業者があった場合、今後も本事業による起業を出来る限りサポートしていく。また、本事業を行うことにより事業者が新規起業を前向きに考えているということが分かったので、今後も町として新たな事業に取り組んでいきたい。

平成30年度忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

No.	⑤-2					
事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業(泉州地域観光DMO事業)					
担当部課名	町長公室自治政策課		補助金の有無		有	
補助金名	地方創生推進交付金		補助率		1／2	
事業期間	H28.8～R4.3					
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額	0円	5,701,000円				
国庫補助額	0円	2,001,000円				
KPI 最終目標値 (R4年度)	泉州地域の訪日旅行者数 : 420万人 泉州地域の来訪者満足度(訪日旅行者) : 7.0ポイント 泉州地域の延べ宿泊者数 : 180万人 泉州地域の旅行消費額(訪日旅行者) : 1347億円					

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI項目	H30年度達成率	評価※1		H29年度	※H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
泉州地域の訪日旅行者数	82%	○	目標値		2,410,000人	2,770,000人	3,180,000人	3,650,000人	4,200,000人
			実績値		1,974,309人				
泉州地域の来訪者満足度(訪日旅行者)	109%	◎	目標値		5.7	6.0	6.3	6.6	7.0
			実績値		6.2				
泉州地域の延べ宿泊者数	132%	◎	目標値		1,040,000人	1,190,000人	1,370,000人	1,570,000人	1,800,000人
			実績値		1,371,388人				
泉州地域の旅行消費額(訪日旅行者)	231%	◎	目標値		773億円	888億円	1,021億円	1,172億円	1,347億円
			実績値		1,788億円				

※いずれの数値も現在精査中の速報値である。

事業目標・概要 【PLAN】	堺市以南の13市町(9市4町)と民間企業などの官民が一体となり、「一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー」を設立し、泉州地域の舵取り役として、観光事業に精通した専門人材によるマーケティングデータに基づく戦略的な誘客プロモーションを実施することで、泉州地域へのさらなる誘客と観光産業の成長を図り、もって泉州地域の文化の創造、人材の育成及び地域経済の発展に寄与することを目的とし、最終的には泉州ブランドの確立を目指す。
実績 【DO】	平成30年4月から「KIX泉州ツーリズムビューロー」として事業を開始し、マラソン事業では「第26回KIX泉州国際マラソン」でのハーフマラソンの導入、プロモーション事業では台湾、韓国のメディアや有名ブロガー招請による泉州PR、受入環境整備事業では大阪周遊パス、南海電鉄と連携した泉州クーポンの販売などを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	フルマラソン申込者数：5,790 名(うち外国人数：93 名) フルマラソン実走者数：5,155 名(うち外国人数：75 名) ハーフマラソン申込者数：1,290 名(うち外国人数：65 名) ハーフマラソン実走者数：1,051 名(うち外国人数：49 名) 韓国旅行ブロガーのフェイスブック・インスタグラム(29 記事) 「いいね」総数：6,131 * 他にブログ 22 記事 台湾旅行ブロガーのフェイスブック・インスタグラム(27 記事) 「いいね」総数：10,186 * 他にブログ 12 記事 泉州割引クーポン利用件数：まるわかり屋(10 件)、浪速酒造(5件)
今後の方向性 【ACTION】	平成30年度事業を踏まえ、事業の整理(スクラップアンドビルド)を行う。事業を行うにあたっては、泉州地域の特色ある食材や豊かで美しい自然、多彩な伝統、文化を活かし、地域の関係者との連携強化を図っていくとともに、キャッシュレス普及促進などの新たな取り組みを通じ、稼ぐDMOとしての仕組みを構築していく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	